市川市通学路安全推進協議会　通学路合同点検　　学校別の危険箇所と安全対策一覧表（令和５年３月末）

NO		学校名		通学路の危険箇所	危険の内容	対応内容	効果等
1	令和４年度	中国分小学校	1	堀之内１丁目27	車の交通量が多い。外環自動車道の開通に伴い、信号が撤去された。設置の要望を出しているがかなっていない。交通量が多く大変危険である。	学童注意喚起看板設置	効果は、薄いように感じる。 引き続き、信号機設置の要望をあげていく。
2						県警本部に信号機設置要望を継続する	
3						歩行者障害の取り締まり	
4						安全教育	
5						見守り活動	
6			2	中国分１丁目23	道幅が狭く、車の通行が多い。ガードレールがなく、カーブになっているため、非常に危険である。	ガードレール設置	子どもたちが安心して登下校できるとともに、車のすれ違いもスムーズに行えている。
7		菅野小学校	1	須和田１－13外環トンネル	道が狭く、朝は渋滞を回避する車で交通量が多い。子どもは横断歩道がない道路を渡っており、交通事故が心配な場所である。また、外環道の下の交差点は自転車の通行も多く、特にマナーの悪い人への注意が必要である。	自転車の取り締まり	警察が定期的に取り締まりを行っているが、自転車のマナーが改善されたとは言い切れない。特に一時停止を守らない方が多く、歩行者が優先して通行できない状況が見られる。引き続き、警察の方の取り締まりは必要と考える。
8			2	菅野６－１－６（セブンイレブン前歩道）	店に入ってくる車が多く、歩いている子どもが車に注意しなければならない状況。自転車のマナーも悪い。	見守り活動	見守り隊の方の誘導が適切で、子どもたちは安全に通行できている。子どもたちも車の動きをよく見ており、普段からの安全教育が生かされている。今のところ、セブンイレブンへのお願いはしていない。
9						安全教育	
10						セブンイレブンへのお願い	
11		平田小学校	1	平田3丁目10	歩道の幅のコンクリートが崩れ破片が周囲にちらばっている。登校中の児童が足を踏み外すとけがにつながる恐れがあり、心配である。	歩道の修復	アスファルトで補修され、安全に通行できるようになった。補修された部分も含めて、割れ目ができる場所なので、引き続き保全が必要と思われる。
12		鶴指小学校	1	大和田４－７－６	交通量が比較的多いが、横断歩道がない。	県警本部へ横断歩道設置要望を上げる。	学区の境界線にあたるため、通学路として使用する児童は存在しない現状だが、放課後等も横断歩道のない場所では横断しないよう安全教育の推進に努めている。
13						安全教育、今ある横断歩道の利用	
14			2	大和田４－11－１	スクールゾーンの表示が消えかけている。	学校があることがわかる路面標示	登下校時間帯はスクールゾーンとなり車両進入禁止となっているが、学校行事等の関係で車両進入禁止時間以外に下校となる場合は、正門付近で飛び出さないよう指導をしている。また、学童保育のお迎え等で保護者が自転車でそのまま道路に出ようとする場面も見られるため、カーブミラーの設置があるとさらに効果はあがるものと思われる。
15			3	大和田４－15－17	交通量が多く、自転車の通行もかなり多い。歩道が明確でないので、接触がおこる可能性が高い。	グリーンベルト	児童の道に広がらずに歩く意識の向上とドライバーに注意を促すことに役立っている。
16		国府台小学校	1	松戸街道（国府台小から国府台病院	歩道の幅が狭い。ガードレールなどもなく、車がギリギリとおれるような状況。自転車や通行人とすれ違うのも大変な箇所がある。	歩道橋の修繕、５年に１度の点検で安全性は確保しており、対策無	学校だよりや、学年だよりで、歩道橋や登下校中の安全について、児童や保護者への注意喚起を行っている。 現在のところ大きな事故は見られていない。
17						歩道の凹凸を平らにしていく。	
18						外側線復旧	
19			2	国府台１丁目13番　中国分交番前道路	道幅が狭く、車の通行が多い。時間規制はされているが、あまり守られていない。道幅が狭く車もよく通る。通学路を変更したが、これからも検討していきたい。	定期的な取り締まり	登下校中のパトロールや安全ボランティアの方々との連携を図り注意喚起を行っている。
20			3	北国分１－６、24、25、26付近の道路	道幅が狭く、車の通行が多い。以前この辺りの対策をしていたが、抜け道のようになっているのか車の量が多く、これからも見守りをしていきたい。	T字２箇所新設	登下校中のパトロールや安全ボランティアの方々との連携を図っている。 児童の事故が起きてから、保護者や児童への注意喚起を定期的に行っている。
21						見守り活動	
22						道路拡幅	
23			4	国府台6丁目1番付近の道路	道幅が狭く、車がスピードを出してくる。	電柱幕	外側線が新設されたことを周知するとともに、学校だよりや校内放送で定期的に児童への呼びかけを行っている。通行する車や自転車の数は多いが、今のところ大きな事故は見られていない。
24						外側線新設	
25		国分小学校	1	東国分2丁目4番地横断歩道（県道264号線と 国分小学校東側川沿いに南北を通る道路が交差する所	自動車、自転車ともに交通量が非常に多い。平日7時～8時30分まではスクールゾーンとなっているが守らない自動車が多数ある。県道より右折および左折する車や川沿いから来た車が右折および左折する際に、巻き込みも含めた事故が懸念される。	停止線の止まれで車が止まるように注意喚起できる看板等	停止線の看板を設置していただいたことで、今まで以上に横断歩道前で自動車が減速させることに役立っている。また、通行禁止の取り締まりを行っていただき、昨年度と比べて通行する自動車の台数は減っている。 しかし、特に通学時にスピードを出して通る自転車が多いことや、朝の通行禁止時間帯に通る自動車もいまだ10数台はあるのが現状である。
26						通行禁止の取り締まり	
27			2	東国分１丁目27～29番地　県道264号　南部部分の路側帯	歩道が無いところがあり、路側帯が非常に狭いところがある。自動車などの交通量が非常に多く、接触事故等の心配がある。	京葉銀行の周辺までラバーポールの設置検討	ラバーポールの設置を増やしていただけたことで、自動車に対する歩行者への注意喚起につながっている。
28						安全教育	
29		稲荷木小学校	1	稲荷木１丁目14－１稲荷木小学校プール横交差点	自転車が駅方面に向かって一時停止せずに飛び込んで来ることがあり、非常に危険	T字新設	保護者の安全活動と安全指導により、現状では事故は起きていない。 T字新設については、児童が意識し、安全確認をするようになった。
30						安全教育	
31			2	稲荷木１丁目12一本松交差点	学校側交差点方向にむけて、信号に停止線がなく、また道路が狭く危険	外側線延長	自動車等速度についてはあまり変化が見られない。

32		3	稲荷木2丁目7番と稲荷木3丁目4番の交差点	横断歩道断がなく交通量が多く危険	県警本部に横断歩道の設置を検討してもらう。（設置は来年度）	安全指導を行っている。地域や保護者からの要望は継続中である。
33	信篤小学校	1	原木1丁目12番京葉道路下トンネル西船橋側	道幅が狭く、トンネルから車がスピードを出して出てくることが多い。車や自転車と登下校中の児童と接触が心配である。	木枠看板	トンネルに進入する際、運転者に注意喚起をすることに役立っている。
34					ドット線復旧	
35					T字復旧	
36			原木1丁目12番京葉道路下トンネル原木側	道幅が狭く、トンネルから車がスピードを出して出てくることが多い。車や自転車と登下校中の児童と接触が心配である。	ドット線復旧	トンネルに進入する際、運転者に注意喚起をすることに役立っている。
37					T字復旧	
38		2	原木2丁目9三戸前橋交差点	歩道や信号、横断歩道がない交差点でトラックなどの交通量が多い。道幅も狭いため、車や自転車と登下校中の児童と接触が心配である。	ガードレールの位置を移動する。	ガードレールの位置移動と路面標示交差点の形状を変える（歩道の確保）については、対応中 交通ボランティアによる常時の見守り活動や安全教育を実施することにより、児童や保護者の安全に対する意識の向上がみられている。
39					交差点の形状を変える（歩道の確保）	
40					見守り活動	
41					安全教育	
42		3	原木2丁目6－18交差点	トラックなどの自動車の交通量が多く、見通しの悪いカーブになっているため、車や自転車と登下校中の児童と接触が心配である。	オレンジポール2本設置	交差点に進入する際、運転者に交差点の存在を知らせて減速させると同時に、横断する児童生徒に対する注意を喚起することに役立っている。
43					進入禁止取り締まり	
44	行徳小学校	1	本行徳8、9、2、3丁目一帯	ブロック塀が並んでいる	ブロック塀に梁を設置	避難訓練の際に学級指導をしている。
45					地震時の安全教育	
46		2	本塩2交差点	緑の歩道の線が消えている	復旧なし、他の箇所を新設	全校集会や校内放送で交通安全について指導している。
47		3	妙典3－3歩道橋	学校側から反対の降り口で自転車と接触する危険あり	児童に対しての路面標示とラバーポール設置。	全校集会や校内放送で指導している。
48					自転車に対しての注意喚起標示	
49					歩道橋の修繕要望申請中	
50					安全教育（一時停止）	
51					橋の舗装を傘でほじらないよう指導	
52		4	妙典3－13	車道が狭い	グリーンベルト新規設置検討	運転者に、歩行する児童に対する注意を喚起することに役立っている。
53					安全教育	
54		5	富浜1－7	とまれの線が消えている。抜け道のため交通量が多い	路面標示対応済み	運転者に、横断する児童生徒に対する注意を喚起することに役立っている。
55		6	富浜2－5	止まれ、歩道の白線が消えている	T字路になったため、一時停止線取り消し	全校集会や校内放送で指導している。
56					安全教育（飛び出し）	
57		7	富浜2－6	止まれ、歩道の白線が消えている	路面標示対応済み	運転者に横断する児童生徒に対する注意を喚起することに役立っている。
58	南行徳小学校	1	香取1－15五差路	五差路のように道路が交わっており歩行に注意が必要	白線復旧（T字路マーク三つ、ドット線二つ、外側線）	運転者が路面標示を視認し易くなった。五差路の交差点に進入する際に注意深く進入することに役立っている。T字路マークを三つ設置したことにより、どの方向から進行してくる自動車に対しても注意喚起をすることができるようになり安全性が増した。
59					安全指導（交差点進入時、一時停止等）	
60		2	欠真間1－5－21	車と児童が出合い頭による接触の可能性	路面標示復旧（T字マーク）	児童の通行が多く、学校関係者の自動車が頻繁に通る曲がり角で、自動車に対して減速を促すのに効果が出ている。
61					電柱幕（スピード落せ）	
62					安全指導（外側線内を歩行）	
63		3	欠真間1－5－15	学校南門から出て左右、通学路の路側帯が消えかかっている	外側線復旧	以前は消えかけていたが、外側線が明確に引き直されたことによって歩行者が通行するべき部分が明確かされ、安全性が向上した。
64					安全指導（外側線内を歩行）	
65		4	相之川2－1－1	ガードレールがあるために南側からの接続で無理な横断をする必要があり危険。	横断歩道設置計画	問題のT字路において、以前は危険な横断をしなければ通学路に接続できなかった場所が、二つの横断歩道が設置されたことによって、安全性が大きく向上した。
66					車止め三つ設置、横断歩道設置時に柵撤去、排水口塞ぐ	
67					安全指導（一時停止、左右確認）	
68	新浜小学校	1	行徳駅前4－5－1	見通しが悪い緩やかなカーブのT字路、横断歩道のない三差路だが、車や自転車の往来が多い。	路面標示復旧（速度30、ダイヤ）	カーブになった道路の先のT字路から運転者に注意喚起することで、安全確認と減速し、横断する児童生徒への注意喚起につながっている。速度30並びにダイヤマークが薄く見づらくなっている。
69					外側線復旧	
70					安全指導（外側線内を歩行）	